

評価シート（年度評価）

名古屋市民ギャラリー栄の管理運営状況

1 基本情報

＜所管局：観光文化交流局＞

指定管理者	公益財団法人名古屋市文化振興事業団		
主な業務内容	名古屋市民ギャラリー栄の管理		
評価対象期間	令和5年4月～令和6年3月	指定管理期間	平成30年4月～令和7年3月

2 評価結果

評価項目			評価区分	特記事項
1 施設利用	(1) 法令等の遵守	法令等を遵守しているか。	○	
	(2) 利用料金	利用料金は適切に管理されているか。	○	
2 職員体制	(1) 職員体制	職員の配置等体制及び研修が適切に保たれているか。	○	
3 維持管理	(1) 施設の維持管理	建物・設備が適切に維持管理されているか。	○	
	(2) 再委託業務	再委託した業務が適正に履行されているか。	○	
	(3) 備品等物品の管理	備品等物品が適切に管理されているか。	○	
4 サービス	(1) 利用実績	当初の計画通りの利用実績が達成されているか。	△	・利用率の計画値が100%と非常に高かったため、計画値を下回った。(R5)
	(2) 事業計画実施状況	提案した計画通り実施されているか。	○	
	(3) 提案事業	提案した計画通り実施されているか。	○	
	(4) 広報・PRの実施	各種媒体による情報提供が適切に実施されているか。	○	
	(5) 利用者満足度・苦情・要望の把握・対応	利用者の満足度、苦情・要望を受けて、迅速に対応できているか。	○	
5 経費	(1) 執行状況	経費が適切に管理されているか。	○	

【総合評価】

所管局のコメント・特記事項等
利用者へのサービス向上の取り組みとして、パネルの設置や照明器具の調節などの設営作業を手伝っており、利用者からの満足度も高い。また、利用者に積極的に声かけし、要望や意見を拾い上げるようにしている点も評価できる。 平均利用率の計画値を100%と非常に高く設定していたため、新型コロナウイルス感染症の影響により対計画値比で13.0ポイント下回った。一方で、若い世代に向けた主催事業に注力しギャラリーを身近に感じていただくことで、比較的利用の少ない若い世代への利用促進に努めている点が評価できる。

評価シート（年度評価）

名古屋市民ギャラリー矢田の管理運営状況

1 基本情報

＜所管局：観光文化交流局＞

指定管理者	公益財団法人名古屋市文化振興事業団		
主な業務内容	名古屋市民ギャラリー矢田の管理		
評価対象期間	令和5年4月～令和6年3月	指定管理期間	令和5年4月～令和10年3月

2 評価結果

評価項目			評価区分	特記事項
1 施設利用	(1) 法令等の遵守	法令等を遵守しているか。	○	
	(2) 利用料金	利用料金は適切に管理されているか。	○	
2 職員体制	(1) 職員体制	職員の配置等体制及び研修が適切に保たれているか。	○	
3 維持管理	(1) 施設の維持管理	建物・設備が適切に維持管理されているか。	○	
	(2) 再委託業務	再委託した業務が適正に履行されているか。	○	
	(3) 備品等物品の管理	備品等物品が適切に管理されているか。	○	
4 サービス	(1) 利用実績	当初の計画通りの利用実績が達成されているか。	◎	・ギャラリーの平均利用率が対計画値比3.0ポイント増
	(2) 事業計画実施状況	提案した計画通り実施されているか。	○	
	(3) 提案事業	提案した計画通り実施されているか。	○	
	(4) 広報・PRの実施	各種媒体による情報提供が適切に実施されているか。	○	
	(5) 利用者満足度・苦情・要望の把握・対応	利用者の満足度、苦情・要望を受けて、迅速に対応できているか。	○	
5 経費	(1) 執行状況	経費が適切に管理されているか。	○	

【総合評価】

所管局のコメント・特記事項等
主催事業の『ぬりえ・おりがみひろば「nuri×ori」』は、小学生以下の子どもを対象として開催された。気軽にギャラリーを利用できる機会を提供し、子どもたちのアートへの興味・関心を育む場を創出したことが評価できる また、例年の課題であった4月～6月の施設利用率について、利用促進の一環として4月～6月の期間を対象に利用料金の一部値下げを行い、年間利用率が対計画比3.0ポイント、対昨年度比11.4%上がった点が評価できる。

施設の現状

市民ギャラリー(2か所)

施設の現状	施設概要							
	美術作品等の発表の場を提供することにより、市民文化の振興に寄与するために設置された施設です。具体的には、展示室の貸出や、アートにより親しんでもらうための主催事業を実施しています。							
	市の収支状況(千円)（5年度決算(見込)額）							
	支出			収入				
	指定管理料	その他	計	使用料	その他特定財源	一般財源	計	利用料金
	63,726	26,228	89,954	5	35,215	54,734	89,954	41,075
	特記事項							
管理運営指標の状況	取組状況							
	指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	利用率(市民ギャラリー栄)		%	35.2	54.3	87.7	87.0	
	利用率(市民ギャラリー矢田)		%	37.0	52.3	63.3	74.7	
	収支率(市民ギャラリー栄)		%	29.8	46.7	55.8	49.4	
	収支率(市民ギャラリー矢田)		%	22.8	27.2	33.9	28.3	
	特記事項							

※支出のうち「その他」欄は、経常修繕費等を記載

評価シート（指定期間を通じた評価）

名古屋市民ギャラリー栄における指定管理者の管理運営実績

1 基本情報

＜所管局：観光文化交流局＞

指定管理者	公益財団法人名古屋市文化振興事業団		
主な業務内容	名古屋市民ギャラリー栄の管理		
評価対象期間	平成 30 年 4 月～令和 6 年 3 月	指定管理期間	平成 30 年 4 月～令和 7 年 3 月

2 管理運営状況（評価結果の推移）

評価項目	評価区分						特記事項
	平成 30 年 度	令 和 元 年 度	令 和 2 年 度	令 和 3 年 度	令 和 4 年 度	令 和 5 年 度	
1 施設利用							
(1) 法令等の順守	○	○	○	○	○	○	
(2) 利用料金	○	○	○	○	○	○	
2 職員体制							
(1) 職員体制	○	○	○	○	○	○	
3 維持管理							
(1) 施設の維持管理	○	○	○	○	○	○	
(2) 再委託業務	○	○	○	○	○	○	
(3) 備品等物品の管理	○	○	○	○	○	○	
4 サービス							・利用率 100% (H30)
(1) 利用実績	◎	◎	—	—	—	△	・利用率 100% (1 月末時点) (R1)
(2) 事業計画実施状況	○	○	○	○	○	○	・月間情報紙「&Art」を創刊 (R3)
(3) 提案事業	○	○	○	○	○	○	・「&ART」発行部数を増加 (R4)
(4) 広報・P R の実施	○	○	○	◎	◎	○	・利用率の計画値が 100%と非常に高かったため、計画値を下回った。(R5)
(5) 利用者満足度・苦情・要望の把握・対応	○	○	○	○	○	○	
5 経費							
(1) 執行状況	○	○	○	○	○	○	

年度ごとの総合評価（所管局のコメント・特記事項等）	
平成 30 年度	リピーター確保のため、過去の利用者へ申し込み時期の案内を送付するとともに、キャンセルがあった場合にもFacebookや館内の掲示板を活用した空き情報の提供を行うことで、今年度も利用率100%を維持した。 施設事業では、「ミュージアムコレクション」において、近隣の美術館と連携し、市民が美術品を鑑賞する機会を充実させた。また、「集まれ！キッズアーティスト」において、生徒に文化芸術の発表の場を提供し、次世代の美術活動の振興に寄与した。
令和元 年度	利用団体に対する営業活動の回数を増やしたり、過去の利用者へ申し込み時期を知らせる案内を送付するなどのリピーターの利用を確保する取り組みや、キャンセルがあった際に情報提供するためのキャンセル待ち申込書を受け付けることで、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の1月末時点では利用率100%を達成した。 施設事業では、学生を対象とした「集まれ！キッズアーティスト」や「高校生の写真展」を実施することで市民の作品発表・交流の場としての役割を果たすとともに、若い世代が来場するきっかけを作り、気軽に美術に触れられるギャラリー栄の認知度の向上にもつなげている。
令和 2 年度	施設事業として、近隣の美術館等と協力して「美術館スタンプラリー」や「ミュージアムコレクション」を開催し、連携関係を深めて地域の美術の活性化に寄与した。また、美術に関心のある市民を対象とした参加型ワークショップを実施して、市民の美術活動の振興に努めるとともに、ワークショップの講師をギャラリーの利用者に依頼することで、新型コロナウイルス感染症の影響で大幅に減少したギャラリー利用者の活動を支援する役割も果たした。 なお、利用実績については、感染症の影響により評価を実施することが困難であるため、評価しないものとする。
令和 3 年度	展覧会情報誌を刷新し、市民ギャラリー栄の月間情報紙として「&Art」を創刊し、展覧会情報だけでなく、アートに関する記事も掲載し、内容を充実させることで情報発信に努めた点が評価できる。また、紙媒体だけでなく、Instagramを活用して、定期的な展覧会情報「手のひらアート」の発信にも注力している点も望ましい。 なお、利用実績については、感染症の影響により評価を実施することが困難であるため、評価しないものとする。
令和 4 年度	ギャラリー栄広報紙「&ART」が好評で発行部数も 2,500 部から 3,000 部に増やしている。毎月、誕生月の芸術家をピックアップして紹介し、民間ギャラリーにも配架。芸術系大学出身の職員が作成に携わっており、まずは広報紙を手にとってもらい、そこから施設を認知してもらうというコン

	セプトが明確な点も評価できる。 なお、利用実績については、感染症の影響により評価を実施することが困難であるため、評価しないものとする。
令和5年度	利用者へのサービス向上の取り組みとして、パネルの設置や照明器具の調節などの設営作業を手伝っており、利用者からの満足度も高い。また、利用者に積極的に声かけし、要望や意見を拾い上げるようにしている点も評価できる。 平均利用率の計画値を100%と非常に高く設定していたため、新型コロナウイルス感染症の影響により対計画値比で13.0ポイント下回った。一方で、若い世代に向けた主催事業に注力し、ギャラリーを身近に感じていただくことで、比較的利用の少ない若い世代への利用促進に努めている点が評価できる。

3 利用状況等

具体的な取り組みや成果等
新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和2年度に大幅に施設利用率は下がったが、感染症流行以前の平成30年度、令和元年度（1月末まで）は100%と非常に高い利用率を記録した。

4 収支状況等

具体的な取り組みや成果等
効率的な施設運営に努め、概ね計画通りの収支率を達成した。

5 利用者の意見や満足度等

利用者の意見や満足度等の内容・推移
指定管理者として組織全体で接遇研修を積極的に行い、利用者目線の管理を行うなどサービス面の強化を図り、利用者満足度調査では概ね「満足」の回答を得た。

6 総合評価

所管局のコメント・特記事項等
ギャラリー栄広報紙「&ART」では、展覧会情報だけでなく、芸術に関する記事を掲載して内容を充実させることで、より多くの方に広報紙を取ってもらおうとした点が評価できる。 また、若い世代の施設利用が少ないという課題に対して、ギャラリーを身近な場所に感じれる事業を企画し、SNSの広告に努めて施設をPRしている点が評価できる。